

## レース報告書

### スーパーフォーミュラ 第1戦

#### 鈴鹿サーキット

4月22日(土) 予選 天候：晴 (観客動員数：21,000人)

4月23日(日) 決勝 天候：晴 (観客動員数：35,000人)

#### 予選結果

#64：9位

#65：11位

#### 予選レポート

TCS NAKAJIMA RACING として初戦となる2017年シーズンの開幕戦。ドライバーは中嶋大祐に加え、F1の経験もあるベテランのナレイン・カーティケヤンを起用。オフシーズンのテストを順調に消化し、いよいよ開幕を迎えることに。

快晴のもと行なわれた公式予選。朝のフリー走行では64号車大祐は8番手、65号車ナレインは10番手と予選に向けた確認を終え、14時の予選開始時刻を迎える。

まずはQ1。2台は揃ってコースインし、まずはユーズドタイヤでの確認をし、一旦ピットに戻り、ニュータイヤに交換後、再びコースインし、いよいよタイムアタックにかかる。大祐は1分37秒185の11番手タイム、ナレインは1分36秒760の4番手タイムでQ2へ進出を決めた。

10分後に開始された7分間のQ2では、熾烈なタイムアタック合戦が展開され、大祐は1分36秒801の9番手、ナレインは1分36秒888の11番手でそれぞれ僅差のタイム差で惜しくもQ3進出を逃した。Q2に進出した14台中13台が1秒以内にタイムを並べる混戦が昨年に続き繰り広げられた。

## コメント

総監督：中嶋 悟

「TCS NAKAJIMA RACING としての初戦でした。Q3 に出走することができず残念な気持ちではありますが、安定した速さを見せてきているので、まあよしとして、明日は総力を挙げて、少しでも多くのポイントを獲得したいと思います」

#64：中嶋 大祐

「予選ではわずかな差で Q3 進出を逃してしまいました。全体的にはマシンの感触は悪くなかったのですが、低速コーナーのグリップが思うように改善出来ず、そこでのタイムロスが響いたように思います。なんとしても Q3 に進出したいと思っていたので、悔しいです。ただ、レースを考えると悪いポジションではないので、明日は集中してポイントを獲得できるようにしたいと考えています。ご声援宜しくお願いします」

#65：ナレイン カーティケヤン

「Today was my first race with TCS NAKAJIMA RACING. Yesterday we had a software issue with the throttle so we couldn't get the best setup, so today we were little bit behind. We made lot of changes and the car was good in Q1. Q2 was not as good as Q1. I went slower in Q2 so that cost me a little bit time. If I did the same time as Q1, I would have been in Q3. I feel sorry for the team. It's not the strongest start but we are in the middle, so we hope to have a good race tomorrow and bring some points home.」

「今日が TCS NAKAJIMA RACING としての最初の予選でした。昨日、スロットルのソフトウェアに問題が発生して、ベストなセットアップができなくなり、少し出遅れてしまいました。セッティングの変更が功を奏して Q1 はよかったのですが、Q2 は Q1 ほどよくありませんでした。Q2 では、ゆっくりめに行ったので、少しロスがあったと思います。Q2 でも Q1 と同じラップタイムで走れば、Q3 に進出できたと思うので、チームにも申し訳ない気持ちがあります。最高のスタートではありませんが、

明日の決勝でポイントを獲得したいと思います」

## 決勝結果

#64 : 7位

#65 : 13位

## 決勝レポート

前日に続き快晴に恵まれた鈴鹿サーキット。Enjoy Honda や 2 輪レースとの併催もあり、多くの観客に見守られる中、13 時 40 分に SUPER FORMULA のレースがスタートを切った。9 番グリッドからスタートした大祐は 1 周目に義務のピットストップを敢行、タイヤを 1 本交換後、コースに復帰し、ペースを上げて周回を重ねていく。

一方の 11 番グリッドからスタートのカーティケヤンは 2 周目にピットストップを終え、こちらもタイヤを 1 本のみ交換してコースに復帰する。TCS NAKAJIMA RACING の 2 台を含む 12 台が序盤にピットストップを行なう作戦をとり、残りの 7 台はそのまま走行を続ける作戦をとったことで後半の行方が気になる展開に。

しばらく小康状態が続いたが、16 周目に勢いよくコース外から復帰してくる他車に巻き込まれるかたちでカーティケヤンには接触があり、順位を落としてしまう不運が襲う。それでも諦めることなくプッシュを続ける 2 台だったが、23 周目にコース上にストップした車両があり、セーフティーカーが導入されることに。このタイミングで上位陣はピットストップを行なったが順位に大きな変動はないまま 25 周目にレース再開。残り 10 周のせめぎ合いが続いたが、終始安定したペースで走り切り、大祐は 7 位、カーティケヤンは 13 位でチェッカーを受け、大祐は 2 ポイントを獲得した。

## コメント

総監督：中嶋 悟

「ナレインは不運があり、順位を落としてしまいましたが、大祐はポイントを獲得することができ、ますます順調なスタートを切ることができたと思います。次戦はもう1歩先に行けるよう、スタッフ一同頑張っていきます」

#64：中嶋 大祐

「今日はピットストップが全てだったように思います。戦略も、作業も、全て完璧だったおかげで2つポジションを上げることができました。チームに感謝しています。ただその一方で、レース序盤からギアボックス関連に問題が発生してしまい、ブレーキングで100%プッシュできない苦しい展開になりました。ブレーキング以外はマシンのパフォーマンスはとても高かったなので、このトラブルさえなければ上位と同等のペースを維持することができていたと思います。いずれにしても、次戦以降が非常に楽しみな内容のレースでした。引き続きトップを目指して頑張りますので、ご声援を宜しくお願いします」

#65：ナレイン カーティケヤン

「I made a good start but I couldn't gain a position in front and I lost 1 position. I did not have the pace to jump Kobayashi and that was the end of the race. After that I had difficulty in breaking and balancing of the car. The pit stop was quite good and the team did a good job. Not the best of the race but I must improve my race performance. 」

「スタートはよかったです、前方にポジションを得られず、ポジションを1つ下げてしまいました。小林選手を避けることができず、それ以上順位を上げることはできませんでした。マシンはブレーキのバランスが難しかったです。ピットストップは良くて、チームも一所懸命頑張ったので、全力は尽くせたと思います」

※次戦は5月27日、28日に岡山国際サーキットで行なわれます。